



三獣演義  
下

特  
13  
2029  
22



門 13  
番 2029  
巻 2

三教演法卷之下



隱士 白龍子著

老馬大教(教訓)の事

海小老馬とも老牛先生の方小じい海とやん  
社女の新不興の鶴は相つんへかゆ心ひ肉よあまこ  
又れよ阿らるる心とやんかち家も山亭(まよ)もこも  
而形又(あつ)る心と六相身へかへすりある目なのちん  
あくも山ねやとかへきバ老牛角をさり立  
てるくかへた様小せう孫のちりりあをさるる  
かへすりたりのあへりりせとねきともせねどの

より鼻海のふくむまじくおまも又横小車をおす  
 らるなり成行老馬の西家の母り先列より馬  
 一匹の徳義を問ふ事なり一匹おま後あま押  
 ままあの強力あるよむせくおまおひーとて  
 せしゆおゆもあつてあま一匹改ま二匹おま剛  
 賊なりおまハ徳ありと申又強い根のせむおま  
 ついお人も剛なきに必く一万事の申おまの  
 とおまといひおまの徳も片一匹のおまおま  
 ころおまの徳も老馬油切も一匹のゆいおま  
 おまおまの徳も判りこのおまおまおま

御ふくた徳もあまおまの徳も老馬も打  
 大日如来を掛てこれおまおまおまおま  
 おまおまおまおまおまおまおまおま  
 おまおまおまおまおまおまおまおま  
 おまおまおまおまおまおまおまおま  
 やおまおまおまおまおまおまおまおま  
 ことおまおまおまおまおまおまおま  
 中華の古くおまおまおまおまおまおま  
 牛馬二畜のおまおまおまおまおまおま  
 万民のくまおまおまおまおまおまおま

牛馬は四海の所なりて牛は稗材の好みぬ馬は華山を  
 陽不浪人せしむる及びび一がたしむる大衆の力をかり  
 て聖人の天下を平治せるものぞや至若く周易の  
 乾卦傳小乾為馬坤為牛とあれは十二支の中をく  
 象あるものぞや牛宿のく犧牲をくく道又  
 の星ある御馬の宮より一名治樂といふそのの  
 國を拓く天地の盟い天子の軍の系料とある牛馬  
 の三穀をのちも其貴く用ひらるる天地の化育をな  
 け人力の及ぶる事なきは是れ大なる功なりて象の  
 中ぐ及び給ふは其の功なり

本牛流馬と作りて蜀の國より遠く兵糧を運送する  
 祁山の陣中なる糧はあり一本をばく穀は牛を  
 其速かのくく人々も漢の牛馬を功を奉てや  
 休でくく桶おくくく一といふも何ぞや  
 りんらと馬の耳くく風のくく安んんは是れ  
 何とくくも人海の朋とくく大功あるもの牛馬の三穀  
 あくくか一は和漢古今の通義あり是れ象の  
 勇猛強力の証なりまき給ひくく自恃あれども  
 夜に理屈やと過猶不及といふ以不易の聖  
 語万事は後をけりぬるものか一牛馬中庸の

一牛馬中庸

二

押ふけひたるふ後て牛馬の二穀ハ人のくふ功庸多  
 一也る也や獅子虎のくはハ豫陽の斤穀をうけて  
 強のふて葉あふふ後て人は用ひられて功庸をま  
 りもあはれあはれ人もうはてていひて穀をあらた  
 其氣質の稟たる事いふはたのあはれと宋初の  
 朱晦菴もいふて葉が仲間ゆもち葉一自ふ子星  
 を地をる馬ありといふも先斤穀を交へる馬あるふ  
 依て強あるふ似て國家の助とかは漢文帝時有  
 献千里馬者詔云鸞輿在前属車在後吉行日  
 五十里朕東千里馬独先安之乎與道里費而却馬



大馬

三

三



耶（ヨ）らりて朝人皇九十九代後醍醐天皇の所（トコロ）は雲列  
 留（ル）りて千室の馬を執（シ）ざるの所の海の大（オホ）理（リ）万室の海  
 在（在）房（フ）卿（ケイ）文帝の故事を以て深く是を以て一也然り  
 故（コ）も今も賢人君子のふるまはるるのよう一其（シ）形（カ）所（所）  
 勇（ユウ）猛（メイ）の天のあせらるるまきハ牛馬をり小國ふよりて形  
 中（ナカ）も大小ある魚一勇猛（ユウメイ）も甲（カウ）しきべ一牛馬も虎  
 のとれどくくはるる魚一猛（メイ）もそれぞこのんで二  
 物（モノ）も強（キヤウ）勇（ユウ）と毒（ドク）あつたの西（シ）史（シ）の勇（ユウ）あり齒（キ）牙（バ）  
 ありて毒（ドク）ありて強（キヤウ）とそれのひふははるる記（キ）を拾（シ）べ  
 かた天地の間含（カン）氣（キ）の類（ルイ）もかくのよう強（キヤウ）も人（ヒト）も

三皇漢記 卷之十



とりくとも富貴天お所の海にぶる富貴を捨てては後  
 りんかおまがな言お海に流合を堆ちて北斗を指しとも  
 生お一掃の海をさるべと白樂天がひらんかうお歌をそ  
 歎かゝらんかごら賢より賢お梅さ梅さらんお歌後  
 いか今海を日本に渡すものかればあふ上天子お軍  
 より下日本に帰おせらるるもてあのかげの糸をわたす  
 ももも海の正統のこころいとも樂極して後するその  
 空く法をまじば盛なる中お正統を海きう一此後果つて  
 出る様ういへんか事よふこのおいは海に汗をひか  
 ぐお流してかたまじば流るるおおこしこのつゝあのかく

耳をこれ舞を授けては後感んらるる形勢をてはの  
 ことこのお後の山教訓を無承十年お黒白の二家又いおるこりた  
 事の共後文祿三年お黒白の二家又いおるこりた  
 海賊おのりまおふらここの津をせおるれば後人お  
 奏弄お海に鼻の叔曲をあらはしこのおあひのやう  
 けな茶の口海に舞する海おあまは事つら公武の貴  
 然るは申老馬老馬老馬會のわらう甲ぞふとあり  
 と難治よあへる事海をゆるは合を向治おとあが  
 くら會さんとあひびびおるた一語こり  
 大勢老牛老馬と和治世言約の事







たぐもておぼたけいさくしよか—善賢がむらりを流人  
またく老馬ぬも流人今立給へぬ二代の末は久家  
の二と奉ゆも申も雲—今より牛馬の由あり  
いんたのそ義をむまんとあり天地は拓きて  
たごうはびと鼻指伸て側なる傍にそつ捲た言ふ  
こりておぼたけいさくしよか—食—終りては物事ふ  
そむらびまんとらうのそく立や—二匹とて激甚な  
おぼたけいさくしよか—の由ありと—すふ一和—おぼたけい  
らのでけい—きりある

老馬竹のとお終り事

おぼたけいさくしよか—目と細く—老馬は向くやけいさくしよか—  
そ後へ又おぼたけいさくしよか—出せんはさびお公候の役を  
お勤ある事やんや—おぼたけいさくしよか—て目本の  
馬は老馬若馬とりおぼたけいさくしよか—又形体  
強弱もおぼたけいさくしよか—所あり—おぼたけいさくしよか—老  
若くおぼたけいさくしよか—海く形は大小あり強弱  
あり—おぼたけいさくしよか—おぼたけいさくしよか—おぼたけい  
所もやうあり—又奥列仙臺南の馬は大人おぼたけい  
多し—おぼたけいさくしよか—甲列仙臺のそいさくしよか—  
大人おぼたけいさくしよか—おぼたけいさくしよか—おぼたけい



下は海をびびりて一葉元儀が武海志ある天行無  
 如龍地用無如馬とありて牛は能下たるの用を辨  
 一春平の功をかたのありとて人もあふ下の者別  
 なく同位同格なりかきりて常業に於ては軍の馬あり  
 國主城のころあり難に降降の馬あり武家の事終  
 あり町は馬ありついでにその事終馬ありの事其位是  
 なく其職もも亦別あり申すの下の馬は武後  
 子なる人の後々の用を辨しれは亦下は能の事  
 大なるの役はありてまきりて夜の後を亦能く又  
 是の役はありてまきりて夜の後を亦能く又  
 是の役はありてまきりて夜の後を亦能く又

同おありて只浦山女ハ幕下の由系又ハ能く城の事  
 馬ありの事終馬ありついでにその事終馬ありの事  
 是の役はありてまきりて夜の後を亦能く又  
 馬は海の事もありて一葉元儀が武海志ある天行無  
 如龍地用無如馬とありて牛は能下たるの用を辨  
 一春平の功をかたのありとて人もあふ下の者別  
 なく同位同格なりかきりて常業に於ては軍の馬あり  
 國主城のころあり難に降降の馬あり武家の事終  
 あり町は馬ありついでにその事終馬ありの事其位是  
 なく其職もも亦別あり申すの下の馬は武後  
 子なる人の後々の用を辨しれは亦下は能の事  
 大なるの役はありてまきりて夜の後を亦能く又  
 是の役はありてまきりて夜の後を亦能く又

一葉元儀

十一





始の七十七の馬項羽が烏騅劉備の的願系羽小  
 聖油を子の甲斐の黒豹依木挽系が生啼磨墨系  
 の西の馬をそい歳の馬ともや極一系小依く各その  
 功をかして来以共各をさくはをいし掛り死され  
 其の甲概ぬのよか入皮をさく記ひられてその馬の  
 皮をさくまび人のが用をたますてかり馬の概ぬのよか  
 其の家芳のひよあはは武使の一方ありてれを小父  
 足乃及ぶる火急の用を辨ト九死中の場中て大お  
 の必死の概ぬをさくい概ぬをわく記聖油をも馬を令  
 とるくのり切のりより系概ぬの甲さくごす文字の働を

か一社をたぐるをさくめた平子敏ヤむ小然場の  
 働大平といふさちうひ月の年記の二坊信あり人  
 甲胃を帯一武ら鉄炮鎗長刀を提首をさくま  
 お好の場ゆまらり身人馬の概ぬを輪の輪子わけ  
 其そのう小快ひ過二年もさび靴がさ極くを各乃  
 のをさり付鉄砲わけむ小依く働は自由也  
 其のうさくばら鉄炮鎗長刀の目者とある天折系  
 せんがさくまは波羅たあの馬ふといふようちさ  
 するさくは依くたより武門の大要とては波羅の甲  
 小も入是子も夫馬必安其處所適其水草







三教演說 一巻之下

五

ありんかしののちみまなへん<sup>ち</sup>の<sup>ち</sup>あ<sup>ち</sup>あり

享保十四年己酉秋七月

松會堂壽梓



三教演說 卷之下終

